

2021年12月15日

トラックドライバー用アプリ（T-DAP）試運用開始について

当社では、2022年1月より全国6駅にてトラックドライバー用アプリ（T-DAP）の試運用を開始します。同アプリにより貨物駅業務をスマート化し、「JR貨物グループ長期ビジョン2030」に掲げるJR貨物グループが社会に提供する4つの価値の一つである「物流生産性の向上」の実現を図ります。

1. 概要

「利用運送事業者」・「トラックドライバー」・「フォークリフトオペレーター」・「貨物駅」間でデータを連携させることで、利用運送事業者の作業利便性向上と、荷役作業のさらなる安全性向上・省力化を図るため、トラックドライバー用アプリ（T-DAP）を開発しました。このたび、2022年1月より全国6駅にて一部機能の試運用を開始します。

トラックドライバー用アプリ（T-DAP）



ロゴ画面



イメージ

2. 試運用駅

- 北海道：函館貨物駅
- 東北：仙台貨物ターミナル駅
- 関東：隅田川駅
- 東海：静岡貨物駅
- 関西：百済貨物ターミナル駅
- 九州：北九州貨物ターミナル駅

3. アプリ試運用開始日

2022年1月31日（予定）

4. リリース機能

- (1) 駅からのお知らせ情報機能
- (2) コンテナ位置情報機能
- (3) 列車位置・遅延情報機能